

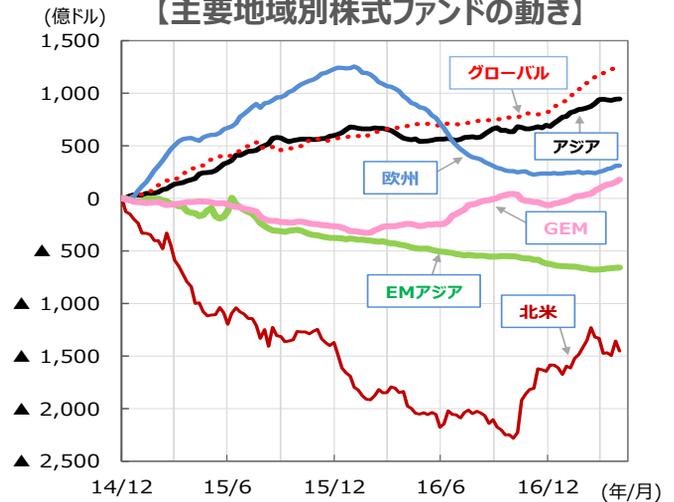
## 今日のトピック 世界の「投信マネー」

# 株式はグローバル、債券は北米中心に流入超

### 株式はグローバルが大幅流入超

- EPFRグローバル<sup>(注1)</sup>で世界の「投信マネー」の17年1～4月の動向を見ると、株式ファンドは975億ドル、債券ファンドは1,397億ドルの大幅流入超でした。
- 株式ファンドでは「グローバル」に458億ドル、日本を含む「アジア<sup>(注3)</sup>」に249億ドル、世界の新興国市場全体に投資する「GEM<sup>(注5)</sup>」に239億ドルが流入しました。また、「新興国アジア（EMアジア）<sup>(注4)</sup>」は3月下旬以降は流入超が続いており、流出傾向に歯止めがかかり始めました。
- 一方、「北米」は3月以降、流入・流出を繰り返しています。

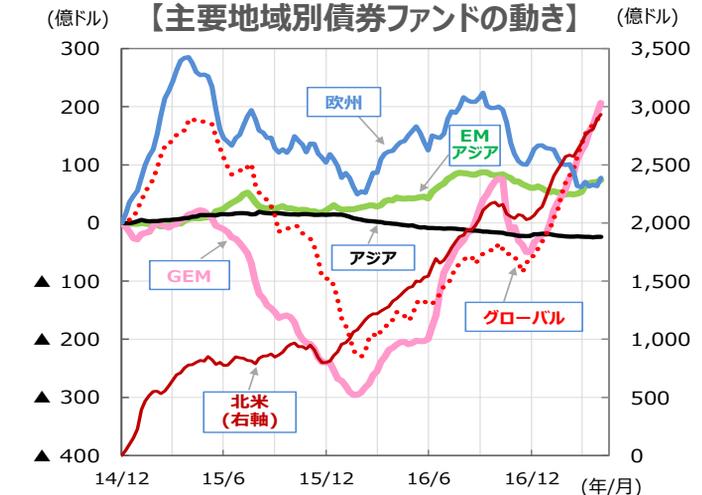
【主要地域別株式ファンドの動き】



### 債券は北米中心。EMアジアに復調の兆し

- 債券ファンドは引き続き大量の資金が「北米」を中心に流入しています（892億ドル）。また、「GEM」が257億ドル、「グローバル」が247億ドルの流入超となりました。
- アジア地域では、「EMアジア」への資金流入に復調の兆しが見られます。17年1～4月の流入超過額は13億ドルにとどまりましたが、3月後半以降は流入超が続いています。新興国アジアの長期金利は、米国の長期金利の影響も受けますが、①アジア各国・地域の長期金利は先進国に比べて高い、②経常収支や対外債務の水準など経済の基礎的条件が比較的良好、であることなどから、安定した推移が期待できそうです。今後も新興国アジアに世界から資金が流入する可能性があると考えられます。

【主要地域別債券ファンドの動き】



- (注1) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2017年3月末現在27.8兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。  
 (注2) データは2014年12月～2017年4月。週次ベース。2014年12月からの累計。  
 (注3) アジアは豪州、ニュージーランド、香港、シンガポール、日本。  
 (注4) 新興国アジア（EMアジア）は中国、インド、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ。  
 (注5) GEMはGlobal Emerging Markets（世界の新興国市場全体に投資するファンドの総称）。  
 (出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも  
チェック!

2017年4月26日 米国債券市場の動向（2017年4月）

2017年4月20日 インドの経済・市場動向（2017年4月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。